

【NEWS RELEASE】

2021年7月9日

各位

株式会社三井住友銀行

振込手数料等の改定およびデジタルライゼーションへの取組について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、内国為替制度運営費の創設に伴う銀行間振込にかかる手数料の引き下げを受け、他行宛の振込手数料の引き下げを行います。

また、デジタルチャネルを利用した振込関連の手続や、外国送金の手数料もあわせて改定いたします。三井住友銀行は、今後もデジタルチャネルの利便性向上と手数料優遇に取り組んでまいります。

1. 振込手数料の引き下げについて

他行宛の振込手数料を振込金額 3 万円未満の場合 55 円、3 万円以上の場合 110 円引き下げいたします。なお、対応に万全を期すため、適用日は 2021 年 11 月 1 日といたします。ただし、SMBC ダイレクトは 2022 年 1 月 17 日^{*1}といたします。

(現状)

(円/税込)

宛先	振込金額	窓口	ATM			SMBC ダイレクト	法人向け インターネットバンキング	
			現金	キャッシュカード [※]			Web21 ライト	Web21 ライト以外
				個人	法人			
同一店	3 万円未満	220	220	0	110	0	0	110
	3 万円以上	440	440	0	220	0	0	220
本支店	3 万円未満	330	220	110	110	0	0	220
	3 万円以上	550	440	110	220	0	0	440
他行	3 万円未満	660	440	220	330	220	220	550
	3 万円以上	880	660	440	550	440	440	770

(引き下げ後) 表中の括弧内は現状との差額

(円/税込)

他行 ^{*2}	3 万円未満	605 (▲55)	385 (▲55)	165 (▲55)	275 (▲55)	165 (▲55)	165 (▲55)	495 (▲55)
	3 万円以上	770 (▲110)	550 (▲110)	330 (▲110)	440 (▲110)	330 (▲110)	330 (▲110)	660 (▲110)

^{*1} 2021 年 11 月 1 日から 2022 年 1 月 16 日の間に、SMBC ダイレクトで他行宛の振込をした場合、振込金額 3 万円未満は 55 円、3 万円以上は 110 円を返金いたします。ただし、返金時点で口座解約済の場合など、一部返金対象外となる場合がございます。

^{*2} SMBC 信託銀行、みなと銀行宛の振込手数料も一部引き下げを行います。詳細は別途ホームページでお知らせいたします。

2. デジタイゼーションへの取組について

(1) デジタルチャネルの利便性向上

法人のお客さま向けインターネットバンキング「パソコンバンク Web21」は、2021年2月より順次リニューアルを行っております。また、個人のお客さま向けインターネットバンキング「SMBCダイレクト」は、2021年7月5日に大幅なリニューアルを行ったほか、11月にはこれまでご利用いただけなかった日曜日夜間（21時～翌7時）も含めて、残高照会や入出金明細の閲覧、振込の予約が24時間365日ご利用いただけるようになります。

(2) デジタルチャネルの手数料優遇

便利なデジタルチャネルをよりご利用いただけるよう、手数料を引き下げるとともに、オプションサービスを新設いたします。

<次のサービスを利用した組戻・変更手数料の改定>

(税込)

	改定前	改定後	時期
振込送金 組戻・変更サービス	660円	0円	2022年2月1日
振込結果クイックレポートサービス	660円	0円	2022年2月1日
振込らくらく訂正サービス	660円	0円	2022年2月1日

<法人向けインターネット版外国為替サービス「Global e-Trade サービス」の手数料改定>

(非課税)

		改定前	改定後	時期
被仕向送金手数料		1,000円	0円	2021年11月1日
送金オプション サービス※ ³ (新設)	当行海外支店等宛	2,500円	左記から 1,000円 引き下げ※ ⁴	2022年4月目途
	その他銀行宛	3,000円		

※³ Global e-Trade サービス<デビュー>タイプのオプションサービスとなります。

※⁴ ご利用には一定の条件がございます。詳細は別途ご案内予定の契約概要等をご覧ください。

以 上